



第 58 回

地域おこし協力隊が行く！

実は隣のスゴイ人

曾於市内のスゴイ人にスゴイ人を紹介してもらうこのコーナー。前回のスゴイ人、佐澤ヨシ子さんにご紹介いただいたこの方は、「自分の仕事をしながら地域貢献もしているスゴイ人」とのこと。インタビュアーは^{はし}栞志帆でお届けします。

【今回のスゴイ人】
明治乳業財部販売所
池上 勝義さん



今回は、財部町で長年にわたり明治乳業財部販売所を営んでいる池上勝義さんにお話を伺ってきました。池上さんは財部町の阿那里自治会のご出身。4人兄弟で6歳のころに戦争でお父さんを亡くされてからは、母親一人に育てられたそうです。ほとんどの人が中学校卒業後は就職する時代に、裕福ではないにもかかわらず高校まで通わせてもらったそう。

財部高校卒業後は財部森林組合に15年勤めると、当時明治乳業に勤めていた義弟から「あんちゃん、財部に販売所を作ってくれん？」と相談され、昭和47年に明治乳業財部販売所を開業しました。

当時は牛乳が普及していなくて、親戚、知り合いのつてをたどって一軒一軒まわって行くことからでした。そうするうちに「お隣さんにも届けて」と輪が広がっていったそう。

「毎日朝4時に起きて牛乳を届けるのが仕事だけど、やっぱり人と人との繋がりがなんです」

牛乳を届けるときに挨拶は欠かせないという池上さん。お客さんに「元気かよ？」と聞くと「牛乳のおかげで元気よ」と笑顔で言われたときは嬉しかったと話します。時には、いつも元気な方が体調が悪いことに気づいて、病院に連れて行ったことも。

「見守り隊じゃないけど、声掛けは大切にしてるよ。創業当初から約50年配達をしているから、長い付き合いの方とはついつい話し込んじゃう時もあるけどね(笑)」

これまで沢山のコミュニティや地域のイベント、活動にも積極的に参加してきた池上さん。阿那里自治会の公民館を地域全員で造ったこともあるそう。

「地域で支え合い地域をみんなで作っていくことは今も昔も大切なことなんじゃないかな」

目標は生涯現役。「牛乳を飲む人より配る人の方が元気をもらっていると思う」と話す池上さんに、ほっこりした気持ちになりました。

実は隣のスゴイ人



▶インタビューを終えて

「元気が一番だよ」という池上さん。沢山の人が池上さんの笑顔に励まされ、笑顔の輪が広がっているんだなと思いました。時代は変わっても人と人の繋がりは大切にしていきたいものです。

明治乳業財部販売所

曾於市財部町南俣 458 番地 1
☎ 0986-72-3753



協力隊の今日この頃

お久しぶりです。地域おこし協力隊の柎です。今年の夏野菜は長雨と豪雨の影響で価格が高騰しましたね。5月に植え付けたTOMALANDのトマトもダメージを受け、予想していた収穫祭が出来ない状況になりました。楽しみにしていた下さった方には申し訳ございません。しかし、嬉しいご報告も！お隣の鹿屋市で地域の野菜をピクルスや加工品にする専門店のCOTOCOTOさんです。TOMALANDのカラフルなトマト

トを使ったピクルスが発売されています！トマトの品種によって味が変わり、パクパクと手が止まりません。自分達が作ったものがCOTOCOTOさんとの出会いで新しい形になり提供され、また繋がっていきます。想いの詰まった一瓶になっていますので是非お試しください。また今月のプレゼントのコーナー(25ページ)で数本準備しておりますのでご応募お願いします。(柎)



食卓を彩るカラフルなピクルス

TOMALAND
×
COTOCOTO

大隅半島の野菜を中心に使用してピクルスなどの加工品を夫婦で手作り。最新情報はInstagramをチェック！

